

令和6年度岡谷技術専門校運営協議会 主な意見

開催日時: 令和7年(2025年)2月

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方	
評価シートに関する事	応募・入校に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	各訓練科において受講生が増えていくよう、一層の周知実施と、カリキュラム等の充実についてご検討をお願いいたします。また一層の周知協力を実施してまいりたいと考えております。	公立・私立高校訪問の回数を増やし、高校や自治体等主催の就職相談会等への参加、ハローワークとの連携強化を含め、積極的に周知を図ると共に、皆様からのご意見を踏まえ訓練内容の検討を重ねながら受講生の増加につながるよう努めてまいります。
	訓練に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	<ul style="list-style-type: none"> 地域の基幹産業である製造業を支えるために、ものづくりの人材育成の継続は重要です。せっかく充実したカリキュラムがありますので、入校者が増えるよう学びやすい課程の構築や周知方法の改善等を望みます。 プロダクトマネジメント科につきまして、開設間もないことをごさいますので、周知や科の魅力発信について引き続きよろしくをお願いいたします。 在校生の満足度が高いことはプラス。この満足度をいかに伝え、定員充足率の向上につなげるかがポイントでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり技術科のカリキュラムについては長年にわたり地域の製造業を支える人材を育成してきたと自負しております。研修等参加による指導員の指導内容アップと訓練生満足度の向上を図るとともに、今後はSNSなどの活用により機材や育成カリキュラムの魅力積極的にPRしていくような広報について検討してまいります。 今年度一期生が修了しましたので、そこから得た経験や反省を反映させた魅力発信に努めてまいります。 幅広い年齢層が対象であり、前歴の有無等もあるため、在校生からの評価がどの部分によるのか分析し、訓練生の満足度の向上を図るとともに、対象者別の広報など検討しつつ、応募者の増員に繋がる様な周知を行ってまいります。
	就職に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	特になし	
	参考指標に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	特になし	
	その他		特になし	
地域の学びの場としての技術専門校のあり方、カリキュラムについて		岡谷市の基幹産業である製造業における技術者のレベル向上に向けた訓練内容を維持していただきたい。また、新製品開発等も視野に入れた訓練も積極的に実施していただきたい。また、入校生の卒業までの継続的な訓練にもご配慮をお願いいたします。	令和7年度実施予定のスキルアップ講座については、新人向けから経験者向けまで技術者のレベルにあった訓練を実施します。新製品開発も視野に入れた訓練という点に於いては、オーダーメイド型として各事業者の課題をテーマとした訓練をお受けできますので、個別にご相談ください。	
		地域企業の人材確保にあたり、性別や年齢に関係なく製造業で働ける職場環境づくりは企業にとって重要な課題の一つではありますが、貴校においても技術的な基盤づくり・人材輩出のため、シニア世代や女性がものづくりを学ぶ意欲を持てるPR方法や学校づくりについてご検討をお願いいたします。	岡谷技術専門校の原理原則や技術者として必要な感覚の醸成を第一に事業を実施しています。世代や性別に応じた広報を工夫するとともに、今後はSNSなどの活用により校内の機材や育成カリキュラムの魅力積極的にPRしていくような広報について検討してまいります。	
		県内他校において同課目があることは承知しておりますが、市内事業者から、建設関連や自動車関連の貴校でのカリキュラム設定を求めるお声をいただいております。常設に限らず、スキルアップ講座としての整備士受験講座等、設置のご検討をお願いいたします。	過去においてはご要望にありますような学科を設置していた経過がありますが、廃止や改称を経て現在の学科となっております。講師の確保や設備等に係る費用が見込まれるため、スキルアップ講座も含め新しい講座の開設は極めて困難な状況ではありますが、ご要望を本課に伝えます。	
		生産性の向上について引き続きお願いしたい。		

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
在職者の入校について		<p>人材不足が続かなかで、各企業も十分な人材育成を実施できない状況が続いております。こうした中、貴校のスキルアップ講座など、勤務しながら受講することができる訓練などを通じて、引き続き、効果の高い講座の実施により、企業の人材育成について、幅広い支援をお願いします。</p>	<p>令和7年度実施予定のスキルアップ講座については、新人向けから経験者向けまで技術者のレベルにあった訓練を実施します。企業や団体の要望に応じたオーダーメイドの講座も開設の実績がございます。年間を通じて出来る限り企業の要望に沿った内容で講座を開設してまいります。</p>
		<p>今後事業承継等の事案の増加が見込まれる中、技術の習得やスキルアップが出来るよう、ニーズの把握をしていく必要があると思います。</p>	<p>今年度企業から1名が派遣され校内訓練生として6カ月のカリキュラムに取り組み、技能習得を行っているところです。本校でも、訓練生の技能習得を通じて人材育成に努めるとともに、訓練生は派遣企業のアンケート調査を通じて企業側のニーズを調査し、地域の中小企業様の後継者問題なども含め、充足率向上に繋がる要素を今後検討してまいりたいと考えます。</p>
		<p>定員に対して受講者数が確保されており需要があることが伺えます。地域産業の発展、継続のためにも、定員数設定や内容含め、引き続きカリキュラムのブラッシュアップをお願いいたします。</p>	<p>スキルアップ講座につきましては、校内施設・設備、外部講師の都合等により日程や講座の内容について決定しています。人気が高い講座については、募集開始後即日で定員を満了したり、1企業当たり2名までの原則はございますが、可能な限り柔軟な対応も検討しております。</p>
		<p>学校側のマンパワーも限られると思うのですが、学校側から企業に出向き魅力や価値をPRしたり、企業側の実情や需要を把握するようなことを積極的に行わない限り、入校者の増加は難しいのではないのでしょうか(企業側にしっかり説明することが重要だと思います、現に色々やられていたらすみません)。</p>	<p>訓練生確保に向けては公立・私立高校訪問の回数を増やし、高校や自治体等主催の就職相談会等への参加し周知、スキルアップ講座については商工会議所、商工会、市町村を通じて周知、民間活用委託訓練はハローワークとの連携強化を含め、積極的に周知しているところでございますが、引き続き広報の強化を図ります</p>
		<p>生産管理・生産技術・生産性の向上は今後も必要と思われる。</p>	<p>技術専門校は高校新卒者や離職者・転職者を対象とした就職支援をする施設であること、県内産業、特に製造分野への就職を目指す方々へ、ものづくりにおいて基本となる図面・加工・測定(例えば、オームの法則などの基礎技術、マイクロメータなど計測器で長さが測れる理由など、技術者として理解していなければいけない事柄)を重視するということ、これらを「原理原則」として事業を実施しています。在職者訓練を通じて、生産管理・生産技術・生産性の向上にかかわる人材を育成します。</p>
その他(運営に関すること)		<p>これまで、貴校には岡谷市の基幹産業である製造業に必要な不可欠な人材の育成を担っていただき、今後も引き続き、市内製造業全体の人材の確保、育成に係る支援をお願いいたします。</p>	<p>職業訓練校として多年にわたり地域の製造業を支える人材を育成してきたと自負しておりますが、今後も引き続き本校の原理原則に基づいた人材育成を図ってまいります。</p>
		<p>引続き製造業の技術支援以外の様々な就業支援についても力を入れてくださいますようお願いいたします。IT関連の支援は需要もあるし役立つのではないかと思います。</p>	<p>校内訓練に加え、スキルアップ講座や民間活用委託訓練などでIT関連の講座を開催し、幅広い分野への就業に結びつくよう支援を行ってまいります。</p>
		<p>自己評価シート等を見させていただきましたが、学校運営ではご苦労があるかと、お疲れ様です。私達の組織も同じような課題がありますが、諏訪圏域を主とした地域企業が課題を持ち、自社の人材育成のために社員研修に使っていただけのような方向に向けばと思うのですが、企業側も研修させたいがギリギリの社員体制から出したくても出せないとの企業も多いのではとも思います。企業に寄り添った学びの場となれば良いのですが、難しいのが現状かと。</p>	<p>今後も行政と民間が協働して、それぞれが抱える地域の課題を解決していく場と機会が必要だと考えます。運営協議会等で寄せられたご意見を参考に、岡谷技術専門校のあり方について検討してまいります。</p>